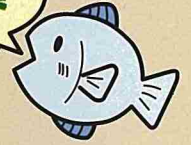


# とつとりの食育

第1回  
表彰事例集



県内では、数多くの団体が様々な視点で食育活動に自主的に取り組んでいます。地域の特性を活かし意欲的に取り組まれている活動を表彰しましたので、紹介します。

## お魚探検隊 び さい (学校法人美哉幼稚園)



### ●活動の概要

「お魚探検隊」は園児による市場見学といわしの手開きという二つの体験軸をもった活動である。

市場では、魚を獲る人—売る人—買う人—作る人がいること、その人間の営みを包んで与え続ける海があること、つまり魚が私たちの口に入るまでの全体を体験する。

体験とは本物に触れることなので、魚の切り身でクッキングするのではなく、生身丸ごとを手開きする。匂いもする、血も出る、いのちをまざまざと体験する。

しかし、体験だけでは終わらせない。体験は形になる。言葉や表現活動（絵画、演技等）が展開してくる。

体験と表現を通して、生きていくことの地盤を経験する。経験することで形成する。それがお魚探検隊の狙いと現実である。

### ●工夫したこと

できるだけ本物（なまもの）にふれること。

単なる消費地ではなく、自然とのかかわりのある場所（例、水揚げ）に行くこと。

体験で終わらぬよう、活動を言葉にしたり、形にしたりして、活動が継続し展開するようにしたこと。

### 学校法人美哉幼稚園 び さい

所在地	境港市明治町175
連絡先	0859-42-2839
概要	園児111名、教職員16名の幼稚園

## 絵本を通じた食育活動 (絵本と食育「はらぺこあおむし」)



### ●活動の概要

子どもから高齢者を対象として、身近な絵本で楽しみ、食について考え学ぶ参加型、体験型を取り入れた活動である。

その中で、食べ物には「いのち」があることや、食と農の大切さ（身土不二の考え方）、食文化や風習等、絵本を通して伝えている。

心と身体の健全育成を目指し、「家族の絆を深める子育て支援」「親支援」のサポートと同時に「笑顔」の輪を広げ、友人や仲間のネットワークが地域を良くし、良い人間関係により住みやすい鳥取県につながるよう絵本を通じた食育に取り組んでいる。

### ●工夫したこと

絵本を活用した食育であり、メンバーがそれぞれ読み聞かせボランティア団体に属し、有資格者の専門性を発揮し、連携して活動している。

季節感を感じるようなワクワクする会場の雰囲気づくりから実際の食材を使いながら、安全な食材の選び方や食の大切さ、楽しさを伝える講座を工夫し、依頼者の食ニーズを話し合った上で企画運営している。

#### 絵本と食育「はらぺこあおむし」

所在地	倉吉市鴨河内2625
連絡先	090-7895-5946
概要	絵本を通じて食育活動を行うボランティア団体

## 食のみやことっとりキラリと光る

### 目的

県内で行われている食育推進活動のうち、限られた人員や予算の中で創意工夫を凝らし、地域の特性を活かした活動に意欲的に取り組む団体等を表彰することにより、食育に携わる者に希望を与え、もって食育活動のさらなる推進と県民の食育意識の高揚を図ること。

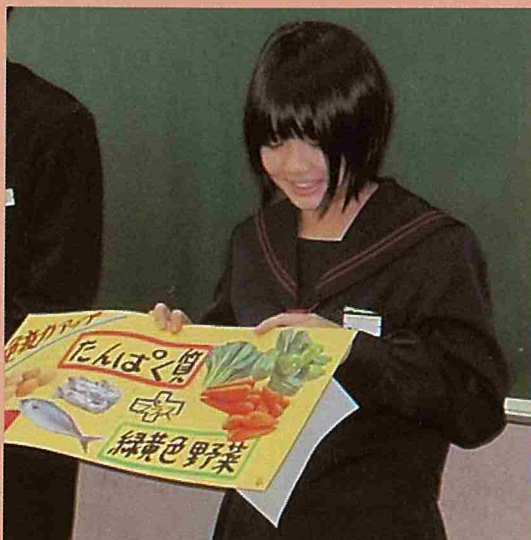
### 概要

表彰の推薦に当たっては、市町村立施設は市町村長の推薦が必要ですが、その他の団体等の活動は、自薦、他薦を問わず広く公募しています。

この表彰は、今後も毎年1回実施することとしています。

# 湯梨浜町立東郷中学校生徒会給食委員会

(湯梨浜町立東郷中学校)



## ●活動の概要

学校目標、めざす生徒像を念頭に置き、食育・給食・保健の年間指導計画に沿った活動をしている。生徒自らが望ましい食習慣等について調べまとめた内容を、生徒自身が伝えていくことで、全校に対する啓発を行っている。

東郷中学校ではその一部を本年度よりホームページで継続公開している。この知識と実践の両立により、年間を通して残食がない等の成果が見られる。

また、毎年、地場産物の生産者と給食を通して交流を行い、地産地消の必要性など食についての興味関心を高める活動も行っている。

## ●工夫したこと

聞きやすい、分かりやすい、継続できる活動になるように取り組んでいる。テーマにあわせ、各クラスの委員が相談し、自分たちの言葉で資料を作っている。

毎日の給食時には委員が献立紹介と全校に伝えたい献立メッセージを放送する。

### 湯梨浜町立東郷中学校

所在地	湯梨浜町久見110
連絡先	0858-32-0456
概要	生徒数176名の中学校

## 食育推進活動知事表彰 について

### 表彰の対象

県内に所在地がある、福祉施設、学校、公民館、地域の団体、サークル、民間企業等が実施する活動で、次のすべてを満たすもの。

- 2年以上の活動実績があり、今後も継続予定であるもの
- 活動の参加者が10名以上であるもの
- 活動目的が次のいずれかに該当するもの
  - ㊦ 「健全な食習慣の定着」
  - ㊧ 「食に対する正しい知識の習得」
  - ㊨ 「食に対する感謝の心を養う」
  - ㊩ 「豊かな食文化の継承」

# ねえねえ どうして牛乳はこんなに美味しいの？

～酪農家の熱い思いを消費者へ～

(もーもーカウィークラブ)



## ●活動の概要

牛乳・乳製品の消費拡大を目的に、生産者が次代を担う子ども達（保育園児、小中高生等）や消費者への講習会を通じて「牛乳・乳製品の素晴らしさや食に対する感謝の心」を伝え交流を深める活動を平成19年から続けている。

講習会は三部構成で、①牛乳の構成成分や栄養価などの話、②酪農家による生産現場の話、③牛乳・乳製品を利用した調理実習としており、対象者の年齢に合わせた楽しく理解しやすい内容を工夫。

この噂を聞いて新規に講習会の申込をされるPTAや学校もあり、また、講習会後には牛乳が苦手だった子どもが食べられるようになったという後日談も届くなど、この活動の効果が徐々に感じられるようになってきた。

## ●工夫したこと

受講者が飽きることなく集中できるように、講習会を三部構成にして対象年齢に合わせた楽しく分かりやすい内容にしている。

第一部では、牛乳の栄養価等の話で正しい知識を身に付けてもらう。

第二部では、酪農家自らが実物大の牛のパネル、牛舎の写真、牛の血統書、子牛用の哺乳瓶、耳標、牛の餌、紙芝居等をフル活用し、生産現場と酪農家の思いを伝えることで食に対する感謝の心を育む。

第三部では、料理実習で牛乳・乳製品を活用した簡単で美味しい料理やスイーツ作りを体験することで健全な食習慣定着の第一歩としてもらう。

### もーもーカウィークラブ

所在地	琴浦町保37-1 (大山乳業協同組合)
連絡先	0858-52-2211 (代)
概要	酪農家による消費者交流を行う食育団体

食育活動は、「食育」と名前の付く取組のことだけではありません。

食料の生産－加工－販売－料理－食べるまでの様々な食に関わる体験を通じて、生きるために必要な知識や技術を学び身に付けることが食育です。

とりネットでは、この事例集に掲載した活動を詳しく紹介したり、その他にもさまざまな食育活動を紹介しています。<https://www.pref.tottori.lg.jp/206386.htm>

他の団体の取組を知り、相互理解を深めることで、「食のみやこ鳥取県」の特性を活かした取組が今後も継続し、新たな取組が生まれるきっかけになればと思います。

発行 鳥取県福祉保健部健康医療局健康政策課 (電話0857-26-7861)

